

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券 …… 償却原価法によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
什器備品 …… 定額法によっている。
ソフトウェア …… 定額法によっている。
- (3) リース取引の処理方法
所有権移転外ファイナンスリース取引については、重要性が乏しいため、通常の賃貸借取引に係る方法に準じて処理している。
- (4) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次の通りである。(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
預金	619,454		△ 21,928	597,527
投資有価証券				0
マツダ株式会社社債	200,000,000		0	200,000,000
利付国債	199,380,546	21,928	0	199,402,473
政府保証債	200,000,000		0	200,000,000
ユーロ円債	200,000,000		0	200,000,000
社債	200,000,000		0	200,000,000
合 計	1,000,000,000	21,928	△ 21,928	1,000,000,000

3. 基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次の通りである。(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
基本財産				
預金	597,527	597,527	0	—
投資有価証券				
マツダ株式会社社債	200,000,000	200,000,000	0	—
利付国債	199,402,473	199,402,473	0	—
政府保証債	200,000,000	200,000,000	0	—
ユーロ円債	200,000,000	200,000,000	0	—
社債	200,000,000	200,000,000	0	—
合 計	1,000,000,000	1,000,000,000	0	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	1,256,000	1,130,400	124,550
ソフトウェア	308,000	308,000	0
合 計	1,564,000	1,438,400	124,550

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

	科 目	帳簿価額	時価	評価損益
SMBC	第239回日本高速道路 保有・債務返済機構債	100,000,000	90,340,000	△ 9,660,000
SMBC	第30回マツダ社債	200,000,000	199,240,000	△ 760,000
岡三	第270回日本高速道路 保有・債務返済機構債	100,000,000	85,620,000	△ 14,380,000
岡三	モルガン・スタンレー B.V (ユーロ円債)	100,000,000	87,309,400	△ 12,690,600
岡三	第561回関西電力債	100,000,000	77,250,000	△ 22,750,000
三菱	第130回利付国債(20年)	100,000,000	99,726,000	△ 274,000
三菱	バークレイズ・バンク・ビロエルシー (ユーロ円債)	100,000,000	105,618,000	5,618,000
三菱	第34回三菱UFJFG劣後債	100,000,000	91,892,000	△ 8,108,000
みずほ	第79回利付国庫債券	99,402,473	57,990,000	△ 41,412,473
	合 計	999,402,473	894,985,400	△ 104,417,073

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替内訳

経常収益への振替

基本財産受取利息に係る振替額 21,928円

(単位：円)

2023年8月～2024年3月	2024年4月～2053年3月	2053年4月～2053年6月
14,618円	21,928円/年	5,470円